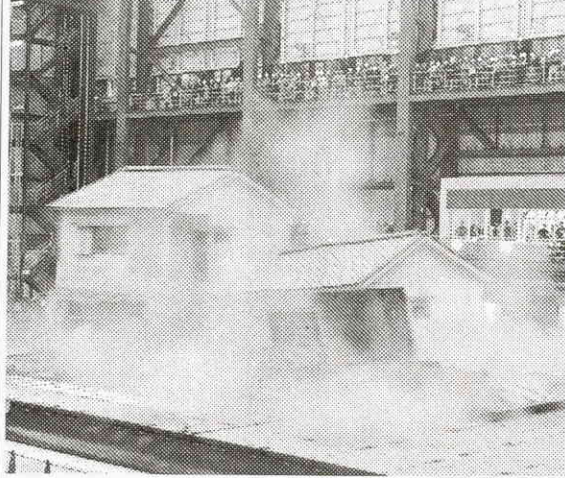


讀賣新聞

2005年(平成17年) 11月22日 火曜日

阪神大震災の揺れを再現し、耐震補強の効果
を調べる実験 (左は補強を施した住宅)



「阪神」の揺れ耐えた!

兵庫 耐震補強の検証実験

阪神大震災の揺れを再現し、木造家屋の耐震補強の有効性を検証する震動実験が21日、兵庫県三木市で行われた。

実際に人が住んでいた築31年の住宅2棟を同県明石市から移築。壁を筋交いや合板で補強した家屋は、震動台で震度7の揺れを再現すると、ひびは入ったが倒壊しなかった。実験は、防災科学技術研究所(茨城県つくば市)が東京大などと合同で、世界最大の震動台を備えた三木市の「実大三次元震動破壊実験施設」(E-ディフェンス)を使って行った。